



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

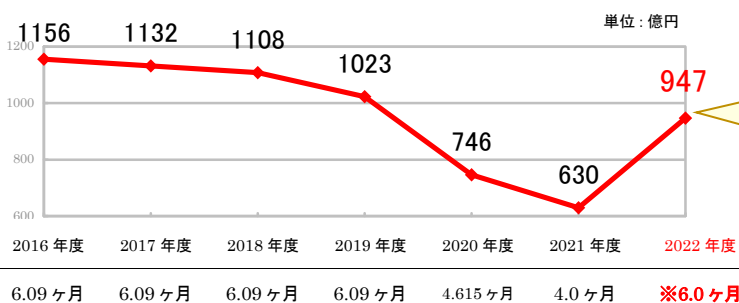
JR東日本労働組合
発責 情報・宣伝部
2022年10月24日 No.528

《2022年度 年末手当series⑤》

経営側は業績が良いときも 期末手当を出し渋ってきた！

■過去の年間総支給額（年間合計額の推定／エルダー社員は含まず）

※東日本ユニオン調べ（2020年度は月数換算）



東日本ユニオンの3.7ヶ月（年間6.0ヶ月）要求を満額回答しても、会社には余力があることが分かります！

○2016年度の社員数 56,200人

○2016年度の基準内賃金 337,906円

○2022年度の社員数 47,700人

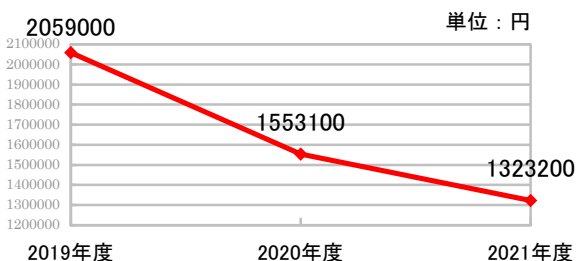
○2022年度の基準内賃金 331,020円

★過去の年間総支給額を見ると、過去最高の業績を更新し続けていたときも、経営側が期末手当を出し渋ってきたことが分かります！

昇給係数「2」により、2年間で平均約10万円強の減収！
さらに！期末手当も2年間で平均約120万円強の減収！

■過去3年間の期末手当の平均支給額

※東日本ユニオン調べ（2020年度は月数換算）



年度	年間月数	平均支給額	2019年度度比
2019年度	6.09	2,059,000円	
2020年度	4.615	1,553,100円	▲505,900円
2021年度	4.0	1,323,200円	▲735,800円

社員の生活は限界を迎えている！
今こそ3.7ヶ月分の年末手当が必要だ！
社員の生活水準を維持・向上させるため
3.7ヶ月分の要求実現を勝ちとろう！